

ソフトボール男子西日本しあすから後半戦

首位平林金属ク 問われる真価

勝差圏内にひしめく。平だ。林金属クは6勝3敗で愛媛ウエスト(愛媛)、タイワアクト(佐賀)と同率首位。好調を支えるのは破壊力抜群の打線

1試合平均6・7点はリーグ最高。松田と松本は打率4割を超え、リーグトップ5本の平本を筆頭にチーム本塁打は計18

本と確実性に長打力を兼ね備える。先行逃げ切り、終盤の逆転と勝ちパターンもさまさまで、松本は「今年はどこからでもチャンスをつくれ、どんな試合展開にも対応できる」自信をのぞかせる。後半戦のキーパーソンはやはり投打の柱、松田だ。7月の世界選手権後、全米最高峰の大会「ワールドトーナメント」に日本人として初出場した。技術、メンタル、分析力。各国の代表選手がそろってプロチームでの戦いで得たものは大きく、「この経験をチームに還元したい」。

ソフトボール男子の西日本リーグは5、6日に福岡市で第3節から後半戦に突入し、首位を走る平林金属ク(岡山市)は4連戦に臨む。白星を確実に積み上げ、混戦模様。決勝トーナメント進出(11月14、15日・京都市)争いを抜け出したい。9チームが2回戦総当たりで争うリーグは前半戦を終え、7位までが2

後半戦に向けて調整する平林金属クの松田 〓 HIRAKINライズ球場



第3節の相手は4位のNeo長崎と高知PWなど難敵ぞろい。気の抜けない戦いが続く。ベテランの引退や移籍選手の加入など新体制を迎えた今季。主将の小見山は「これからチームの真価が問われる」と気を引き締める。

東西両リーグの上位4チームによる決勝トーナメント進出の目安はここ数年10勝。今節で4勝すれば4年連続の進出に大きく近づくだけに、吉村監督は「日本代表投手を擁する長崎との初戦をまずはおろし、波に乗りたい」と全勝に照準を定める。(村上達也)

順位	勝	敗
1	6	3
2	6	3
3	5	4
4	5	4
5	4	4
6	4	4
7	3	5
8	2	6
9	2	6

◇西日本リーグ順位(3日現在)◇

①平愛 ④高N ⑥旭大 ⑦シオ

②林媛 ③知e ⑤桃 ⑧エー

④金ウ ⑤化 ⑥桃 ⑦テ

①属スク ②長 ③次ク ④福

⑤P ⑥化 ⑦桃 ⑧テ

①ク ト ②W ③崎 ④成 ⑤郎 ⑥ト ⑦岡

2015年9月4日(金)の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました
(山陽新聞社より転載許可を得て掲載しています)